

ソフトボール日本代表 金メダリスト

おかえりなさい

元気をありがとう!



12月23日、東京2020競技大会で金メダルを獲得したソフトボール日本代表の森さやか選手が、母校である川角中学校を訪問しました。

金メダリストの登場に生徒たちも大喜びで、とても興奮している様子でした。

体育館に集まった全校生徒を前に、森選手から、「オリンピックの応援動画を送っていただき、ありがとうございました。皆さんの応援のおかげで、皆さんに金メダルの報告ができました。私は中学校時代に前十字靱帯を切ってしまい、一時はソフトボールを諦めたのですが、周りの方の支えで、これまでソフトボールを続けることができました。私にとって後輩である皆さんが、オリンピック以外でも色々な活躍をしてくれることを応援していますので、皆さんも頑張ってください」とのお話がありました。

また、生徒との質疑応答では、生徒たちから、「金メダルを取ったときの気持ちはどうでしたか」、「辛いとき支えになったものは何ですか」などといった質



森さやか選手 夢と希望と



川角中学校訪問の様子は
町公式YouTubeチャンネルで
見ることができます。

問がされました。そのなかで、森選手は恩師である小熊校長との中学生時代の楽しかった思い出なども話してくれました。

さらに森選手は講演の後に、生徒たちと握手をしたり、金メダルを首にかけてあげたりし、生徒たちと交流をしました。金メダリストとの交流は、生徒達にとって貴重な経験となったことでしょう。

森選手は昨年で選手として引退をしましたが、今後はビックカメラ高崎でサブマネージャーを務めるとのことです。そして、将来的には資格を取得し、指導者を目指すそうです。

また、森選手は競技人生を振り返り、「ソフトボールで、苦しいこと辛いことをたくさん経験したけれども、引退の年にオリンピック、日本リーグなど最後に嬉しいことが回ってきたので、いい競技人生だったなと思います」と語ってくれました。

毛呂山町では、今後、森選手に対して特別栄誉賞の授与を行う予定です。

※町への表敬訪問の様子については11ページをご覧ください。

僕は、今回の森選手との交流会で、自分の未来への可能性が見えた気がしました。僕と同じ川角中で3年間を過ごした方から金メダリストが生まれたことを誇りに持つと同時に、そこには並々ならぬ努力があり、その頑張りには報われるのだという勇気をもらいました。そして僕も、自分の行動次第で森選手のような偉大な人になれるのではないかと、この自信を持つことができました。将来、なりたい自分になれるように日々努力していこうと思います。



横川航介さん(1年)

今回の交流会で、森選手からたくさんのお話をいただきました。そのなかで、「つらいこともあったけれど、ソフトボールが好きだったから続けることができた」という言葉が、とても印象に残っています。私はこれを聞いて、何かを追求したり続けていくなかで、そのものや、そのことを好きだという気持ちが、いかに大切かということを改めて実感しました。今回、森選手から学んだ多くのことを胸に、今後の活動にいかして頑張っていきたいです。



荒井ひまりさん(2年)